

第13回東京多摩地区5国立大学法人公共工事入札監視委員会議事概要

開催日及び場所	令和7年12月5日(金)13:30~16:05 WEB会議(Teams)	
委員	委員長 林 静雄 (東京科学大学名誉教授) 委 員 相葉 和良 (弁護士) 委 員 清水 至 (公認会計士)	
審議対象機関	令和6年7月1日~令和7年6月30日	
抽出案件(合計)	6件	(備考) 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。
建設工事(小計)	5件	抽出案件の個別審議は、委員3名により審議を行った。
一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事)	件	その際、委員会資料「資料8①~⑥」に基づき、各発注機関の担当者から説明を行い、質問等への回答を行った。
一般競争入札 (上記工事を除く)	4件	
工事希望型競争入札	件	
通常指名競争入札	件	
随意契約	1件	
設計・コンサルティング業務(小計)	1件	
公募型プロポーザル方式	件	
簡易公募型プロポーザル方式	件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	件	
標準型プロポーザル方式	件	
公募型競争入札方式	件	
簡易公募型競争入札方式	件	
一般競争入札	1件	
随意契約	件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

別紙

意見・質問等	回 答
<p>審議に先立ち、今年度の庶務担当である東京学芸大学から委員の紹介の後、委員長の選出を行い、林静雄委員を委員長に選出した。</p> <p>次に議題について説明があった。</p> <p>議題 1～3</p> <p>東京学芸大学から資料 1～7 に基づき、説明があった。資料は、事前配付しており、概要説明後、承認された。</p>	
<p>議題 4</p> <p>5 大学建設工事及び設計・コンサルティング業務抽出案件の審議</p>	
<p>1) <u>工事：一般競争入札（最低価格落札方式）</u></p> <p>【（府中）アジア・アフリカ言語文化研究所 他空調設備改修工事】</p> <p>（東京外国語大学）</p>	
<p>（東京外国語大学より資料 8-① に基づき、工事概要、競争案件において応札者が 1 者のみの事業となった理由を説明）</p>	
<p>資格等級を A, B で設定し、競争参加資格申請が 2 社で実際に応札したのは 1 社だという結果になったが、厳しい資格要件を設定したのか、また、この工事に興味を持った業者は何社あったのか。</p>	<p>資格等級の基準が予定価格上 A 等級であったため、下位 1 等級まで広げて B 等級までとなっている。施工実績が工事面積の 50 % は標準的だと考えているが、万が一不調に終わった場合にはここを緩和することも考えていた。この案件に対する資料交付実績は 8 社である。</p>
<p>入札に参加しなかった理由は調査しているか。</p>	<p>ヒアリングの結果、配置予定技術者を配置できなくなったことによるとのことである。</p>
<p>入札額が予定価格を超過した要因は何か</p>	<p>予定価格で使用している G H P 機器の価格に関する差異が大きかったことが要因と分析している。参考見積も取っているが、掛け率の問題もあったかもしれないと分析している。</p>

意見・質問等	回 答
<p>最終的に随意契約となっているが、どの部分を下げるによって契約できる金額としたのか。</p>	<p>全体的なところで経費を含めて、機器等工事の価格を抑えていただくことによって契約に至ったという解釈である。</p>
<p>2) <u>工事：一般競争入札（総合評価落札方式（実績評価型））</u></p>	
<p>【(竹早) 附属竹早中学校武道場屋根改修工事】</p>	
<p>(東京学芸大学)</p>	
<p>(東京学芸大学より資料8-②に基づき、工事概要、競争入札において1回目の入札で落札率が99%以上の事業となった理由を説明)</p>	
<p>入札の辞退者が3社出ているが、配置予定の技術者がいないというのが多いが、一般的に他の工事入札関係でもよくあることなのか。</p>	<p>建築一式業者の場合は長期間にわたって受注することが多いため、発注時期によっては他の入札案件にも重複申請していることが多い。参加資格は出したが、配置予定技術者を別の入札案件で落札したことによって辞退したいという理由であった。</p>
<p>建築一式工事ではない工種であった場合、入札参加者は増えた可能性はあるか。</p>	<p>専門的な工種であった場合、例えば防水工事に限定していればその可能性はある。</p>
<p>最終的に不落隨契となっているが、予定価格の算出方法に問題はなかったか。</p>	<p>直接工事費の中で、直接仮設工事費が1.5倍、防水改修が1.6倍の差があったことにより、直接工事費の価格が予定に対して高くなっていたことが要因である。</p>
<p>工事期間が延長されているが、その理由は何か。</p>	<p>足場を組んでみなければわからない部分があったことに起因している。</p>

意見・質問等	回 答
<p>3) <u>工事：一般競争入札（最低価格落札方式）</u> 【(国立) 本館他 5 棟放送設備改修工事】 (一橋大学)</p> <p>(一橋大学より資料 8-③ に基づき、工事概要、競争入札において 1 回目の入札で落札率が 99% 以上の事業となった理由を説明)</p> <p>応札した 2 社の価格が予定価格超過、1 社が 9.9 % で予定価格内となっているが、予定価格を超過した 2 社のうち 1 社だけ飛び抜けて高い額だが理由はなにか。</p> <p>1 社は予定価格を大幅に超過しているのに落札した会社は 1 回目で 9.9 % とほぼ予定価格と同額というのはなにか問題があるように見受けられるが。</p> <p>参考見積を入札参加者から取っているか。</p>	<p>この分析はしていない。</p> <p>今回の入札案件は放送設備が大きいものであり、機器の見積額で差異があると考えている。</p> <p>取っていない。製造業者から取っている。</p>
<p>4) <u>工事：一般競争入札（総合評価落札方式（実績評価型））</u> 【府中幸町団地共同先進健康科学専攻棟改修電気設備工事】 (東京農工大学)</p> <p>(東京農工大学より資料 8-④ に基づき、工事概要、競争入札において落札率が 50% 以下の 事業となったことの理由を説明)</p> <p>低入札価格の調査はされているが、入札金額が三社ともバラバラである。このような状況になった原因はわかるのか。</p>	<p>各社とも数量や内訳に落ちはなかった。予定価格についても、最新の物価版や公共建築工事標準単価積算資料などの基準に基づいて算定している。今回見積を取ったものについては、三社から徴収した上で、一番安価なところに本学の低減率をかけて作成した。</p> <p>低入札調査対象については、直接工事費と諸経費が本学の予定価格よりも安価になっていた</p>

意見・質問等	回 答
<p>5) <u>工事：随意契約</u> 【小金井団地工学部新1号館PAC-5系統緊急空調機器更新工事】 (東京農工大学)</p> <p>(東京農工大学より資料8-⑤に基づき、工事概要、随意契約の事業となったことの理由を説明)</p> <p>故障したのは10月なのか9月なのか</p> <p>1月足らずで工事が済んだということか。</p>	<p>10月になる。</p> <p>そのとおりである。</p>
<p>6) <u>設計・コンサルティング業務：一般競争入札（総合評価落札方式（実績評価型））</u> 【（調布）ライフライン再生（排水設備）設計業務（Ⅱ期）】 (電気通信大学)</p> <p>(電気通信大学より資料8-⑥に基づき、業務概要、競争入札において1回目の入札で落札率が99%以上の事業となった理由を説明)</p> <p>設計業務の二期ということだが、一期も今回の落札した業者か。</p> <p>一期の時も複数者が入札参加したのか。</p>	<p>そのとおりである。</p> <p>3者である。</p> <p>設計業務に関しては、官庁施設の設計業務等積算基準等に基づき積算を行うことが公表されているため、設計事務所もこのことを理解した上で積算をすることから、今回は予定価格に近くなったと考えられる。</p>
<p>議題5. その他 なし。</p>	

【講評】

特段指摘事項等はない。適切に入札が行われていると考えられる。